

音楽の選好と色の選好の関係

尾田政臣

(立命館大学文学部)

キーワード：音楽選好、色選好、共感覚

The relationship between music preference and color preference

Masaomi ODA

(College of Letters, Ritsumeikan Univ.)

Key Words: music preference, color preference, synesthesia

目的

音と色、文字と色、形と味といった異種の感覚が同時に生起する共感覚が知られている。共感覚の生起するメカニズムについては、一部の人間に限られているとする説と、多くの人が意識できていないだけとする、レベルの問題説や、脳内の神経の特異的な結びつきが要因とする説などがある。本稿では、日常的な音楽の好みと色の好みの連合の強さについて検討し、一方から他方の選好を予測可能かを明らかにする。音楽の好みは音楽ジャンルで、色の好みは日常的に使われる色名で表現した。

方法

被験者は144名(男25名、女61名、不明58名)の大学生で、年齢が記載されていた70名の平均年齢は18.8歳であった。質問紙を用いて好きな音楽のジャンルと色名を各々1~5位までを選出させた。ただし、一般的な音楽ジャンルはあらかじめ24項目、色名については20項目をリストとして提示してあるが、該当するジャンルがない場合は自由に記述して良いこととした。また、音楽、色の種別とも選好順位が5位までの選出に満たない場合は、それより少ない順位までで良いとした。

結果

1位から5位までに記述されたジャンルや色を「選好あり」としてF (Favorite), 1~5位までに記述されなかったジャンルや色を、「選好なし」としてN (None)として区分した。音楽のジャンルと色名のFNの組み合わせの出現頻度を求め、音楽のジャンルの選好が色名の選好の出現頻度と関係があるかをカイ2乗検定した。検定はjs-STAR2012を用いて行った。その一例を表1に示す。

表1 JPopの選好と黄色、桃色の選好の関係

JPop\黄	F	N	JPop\桃	F	N
F	56	70	F	54	72
N	3	15	N	2	16

表1の結果は、 $\chi^2(1)=3.942$, $p<.05$ で、JPop好きはJPopに関心がない人より、黄色を好きな色として選ぶ比率が高いことを示した。JPop好きと桃色の選好も同様の傾向で、桃色を好きな色として選ぶ比率が高いことを示した。同様にして検定した全体結果を表2に示す。

Classicに関心がないとClassic好きより、青好きの比率が高い。Jazzに関心がないと、ピンクに関心がない比率が高い。Rockに関心がないと、緑に関心がない比率が高い。Rockが好きだと、青が好きだと、ピンクに関心がない比率が高い。Anime(アニソン)に関心がないと、黒への関心がない比率が高い。

表2 音楽と色の好み/無関心として選択した者の、分類間の出現頻度の独立性の検定

	赤	橙	黄	緑	青	紫	桃	白	黒
JPop			*				*		
Classic					+				
Jazz							+		
Rock				+	*		*		
Anime									+

*5%有意 +5-10%有意傾向

次に、各ジャンルの選好の順位と色の選好の順位の間を調べる。各ジャンル内の1~5位までを選定した者だけについて、音楽のジャンルの選好順位と色の選好順位の相関から、回帰式を求めた。回帰式の音楽ジャンルの係数がマイナスの場合、順位が下位になるほど色の選好順位が上がることを示している。

JPopと緑：1%有意 Green = 4.07 - 0.55JPop

Classicと赤：有意傾向 Red = 4.26 - 0.39Classic

Classicと橙：5%有意 Orange = 4.33 - 0.68Classic

Classicと紫：5%有意 Purple = 4.64 - 0.47Classic

Jazzと桃：有意傾向 Pink = 4.07 - 0.51Jazz

Jazzと黒：有意傾向 Black = 1.81+ 0.33Jazz

Jazzの選好順位と黒の選好順位だけが選好順位の傾向が一致していたが、他は音楽の選好順位が低いほど色の選好の順位は上がった。

考察

表2のように音楽のジャンルの選好と特定の色の選好との関係が見出された。また、音楽の好みとして1位から5位までにあげたデータだけに限定して、選好順位と色の好み調べると、音楽の好みの順位と色の好みの順位が逆になるケースが多く見出された。しかし、全体的には音楽の選好と色の選好に明確な関係が見いだせるケースは少ない。音と色の共感覚といった現象が、弱いながらも誰にでもあり、それが要因となっている可能性が考えられる。また、性格と感性との関係も考えられる。性格特性が要因となり、音楽ジャンルの選好に作用し、また一方で性格特性が色の選好に影響している。その結果として、音楽のジャンルと色の選好との間に弱い相関がみられるといった関係である。

多くの要因が関係することが予想され、現段階ではどちらの要因が大きく作用しているかは特定できない。しかし、それらの要因を詳細に調べて行くことで、音楽と色の好みの関係を予測できる可能性があるだろう。